

授業と評価の年間計画

教科	国語		科目	現代文B	
履修条件 対象生徒	必修 普通科（文型） 2年				
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を身に付ける。				
学習方法	<p>【授業】 論理的な文章については、指示語・接続詞・具体例・段落構成に留意しながら論理の展開や要旨を的確に把握し、筆者の主張を理解する。文学的な文章については、表現を味わい、その表現から想像できる心情、情景などをとらえる。 ただ板書を書写するだけではなく、疑問点や先生の質問を書き留めながら、自分が考えたことや感じたことをノートやプリントに書くことで力を付けていく。また、他の意見や関連する文章を読み、自分の考えをさらに深めていくことが大切である。</p> <p>【家庭】 授業中に指示された宿題は、確実に次の時間までに仕上げる。 授業で扱う文章は内容を読み取り、分からない語句や教科書に書かれている重要語句は辞書で調べ、授業に臨む。単元が終わったら、問題演習を行う。また、定期考査の範囲でもある漢字の学習は、計画的に進めておく。</p> <p>【補習・その他】 土日祝日に出される「週末課題」は、計画的に取り組み、期日を守って提出する。 分からない語句は辞書で調べ、解説をしっかりと読む。 「朝の読書」の時間などを利用して様々な文章を読み、語彙を豊かにし、文章の理解に努める。</p>				
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 中間考査まで 評論『手の変幻』 詩『表札』 (2) 期末考査まで 小説『山月記』  評論『「内的成長」社会へ』  詩『小諸なる古城のほとり』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者特有の、鋭い感性や独創的な発想に触れ、優れた評論の醍醐味を味わう。</li> <li>・詩歌における技法、表現の特色を理解し、作者の思想や感情を理解する。</li> <li>・場面展開を的確に読み取り、心情、情景をとらえ、優れた表現を味読する。</li> <li>・作品の提示する問題を受け止め、自分自身を省み、ものごとを深く考える。</li> <li>・日常的な活動とそれを取り巻く状況との関係について書かれた文章を読み、多様な視点を学び、思考力・判断力を養う。</li> </ul>		
	2 2学期 (1) 中間考査まで  評論『未来世代への責任』 『科学・技術の歴史の中での社会』 (2) 期末考査まで 評論『日本語は非論理的か』  小説『こころ』		<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学の特質、科学と社会とのかかわり方などを考え、それらの問題についての理解を深める。</li> <li>・論理の展開や要旨を的確にとらえ、言語と言語研究への関心を深める。</li> <li>・社会につながる文章を通じて、世の中についての考えを深める。</li> <li>・登場人物の生き方を主体的にとらえながら、作品のテーマについて深く考え、自己の生き方や人間観、他者の存在に対する自覚的な態度を養う。</li> </ul>		
	3 3学期 (1) 学年末考査まで 評論『偶然とは何か』  評論『文学のふるさと』  短歌と俳句		<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的・概念的な用語や表現を理解し、具体的な現実との対応を考えながら読み進める能力を身につける。</li> <li>・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。</li> <li>・詩歌における技法、表現の特色を理解し、作者の思想や感情を理解する。</li> </ul>		
評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化および言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題を総合的に判断して評価する。				
その他					